

「生セミナー in 高知」のご案内

早や1月も終わりに近づきましたが、お正月をいかが過ごされましたでしょうか。都会ではアベノミクス効果で好況とのことですが、わが四国地区では一向にそういう感じが致しません。

さて、物理学者寺田寅彦の作といわれる「天災は忘れた頃にやってくる」という有名な警句があります。ご存知の通り、これは、自然災害は以前の被害を忘れたところに再び起こるものだ。人間は非常に忘れやすい動物だから、日ごろから油断することなくこの災害に備えておかなければいけない、という戒めです。

まだ記憶に新しい東日本大震災から間もなく4年となりますが、今度はそう遠くない将来に四国沖を震源とする南海トラフ巨大地震が発生するといわれています。内閣府の想定によれば四国4県での死者は9万～10万人と予想され、また、強い揺れと巨大な津波のために特に太平洋側沿岸部の生コン工場は浸水によって操業不能となる数が多いであろうことは想像に難くありません。

それぞれの工場に於かれてはBCPその他の対策を考えておられることと思いますが、今一度大震災の記憶を呼び起こし、かつ防災準備の参考とするために、東日本大震災を経験し、現地で復旧復興状況を見てきたコンクリート技術者のお話を聞かせていただく機会を下記のとおり設けました。

また、コンクリートに関する新しい調査研究や品質管理を継続して行くことは私たちに与えられた使命であり、その他のいくつかのテーマについても併せて発表を予定しておりますので、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 主催 高知県生コンクリート工業組合
2. 共催 全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部
(公社)日本コンクリート工学会四国支部 四国コンクリート技術懇話会
3. 日時 平成27年3月10日(火) 13時30分～17時
4. 会場 サンピア・セリーズ 3F「マリンホール」
高知市高須砂地155 TEL 088-866-7000 (無料駐車場400台)
<http://www.chres.jp/>
5. 定員 100名
6. 参加費 無料
7. 申込方法 参加申込書に所定事項を記入の上、下記申込先までFAXまたはeメールにてお申込みください。なお、締切日前に定員に達しているときはお断りすることがあります。また、受講券は発行しませんので、併せてご了承ください。
8. 締切日 平成27年3月3日(火)
9. 申込及び
問合せ先 高知県生コンクリート工業組合 (事務局:片岡)
FAX 088-833-3242 e-mail:ckkataoka@zennama.or.jp TEL 088-833-3110

10. プログラム

- 司会 宮澤 学 (高知県生コンクリート工業組合)
- 13:30～13:35 開会挨拶 山中 伯 (高知県生コンクリート工業組合理事長)
- 13:35～14:00 初期空気量の違いがコンクリートの耐久性に及ぼす影響
松岡克明 (幡多コンクリートサービス幡東工場)
- 14:00～14:25 現場水中養生供試体の強度推定精度向上に関する研究
新居宏美 (香川県生コンクリート工業組合試験技術センター)
- 14:25～14:50 品質管理監査における「過剰強度」と管理限界逸脱
小松正浩 (高知県生コンクリート工業組合)
- 14:50～15:00 休 憩
- 15:00～16:55 東日本大震災からの復旧復興
川崎智治 (住友大阪セメント四国支店技術センター)
- 16:55～17:00 閉会挨拶 島 弘 (公社 日本コンクリート工学会四国支部長)

参加申込書

平成 年 月 日

高知県生コンクリート工業組合 宛

FAX 088-833-3242

会社・団体名	
連絡先(電話番号)	
参加者氏名	役職または所属部課名